

科目名称：	基礎教養 I (美術学科)	
担当者名：	高田 康子	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
本演習は、内省を深めながら、コミュニケーション能力や論理的な思考に着目し、能動的で自立的な学びへと転換し、社会への移行に役立てる。人間として生きていくことの意味や個人と個人、人間と環境の望ましい関係を理解し、生き生きとした感受性を養う。デザイン、アート分野におけるクリエイターとしての働き方、社会や企業との関わり方について学ぶ。		
授業の達成目標・到達目標		
1. 様々な側面から物事を思考・判断・表現するための幅広い知識と技能を養う。 2. 時代の変化に対応でき、新たな価値を創造する能力を身に付ける。 3. 自らのライフプランやキャリアプランを創造する力を養う。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)			50	50	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識・理解 自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を深く理解している	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解している	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解しようとしているが、やや不足している	自己の適性や能力と専門分野の学びを理解できていない
思考・判断・表現 専門分野に基づく自己の将来構想について、おおよそその見通しが持てる	思考・判断・表現 専門分野に基づく自己の将来構想を思い描くことが出来、見通しが持てる	思考・判断・表現 専門分野に基づく自己の将来構想を思い描くことが出来る	思考・判断・表現 専門分野に基づく自己の将来構想について、理解しようとしているが、やや不足している	思考・判断・表現 専門分野に基づく自己の将来構想とは何かを理解できていない
課題の探求、発見、追究、解決という一連のプロセスを達成する能力を身につける	課題の探求から解決にむけた能力が十分身につけている	課題の探求から解決にむけた能力が、ある程度身につけている	課題の探求から解決にむけた能力を身につけようと努力しているが、やや不足している	課題の探求から解決にむけた能力が身につけていない
多様性を理解し、現代社会の変化や諸問題について主体的・積極的に判断し、対応できる	多様性を理解でき、現代社会の諸問題に対して主体的・積極的に判断し取り組んでいける	多様性を理解でき、現代社会の諸問題に対して主体的・積極的にある程度判断し取り組んでいける	多様性や現代社会の諸問題について理解し対応しようと考察しているが、やや不足している	現代社会の諸問題について関心がなく、取り組めていない

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回	イントロダクション <シラバスについてや評価基準についての確認、キャリアについて「内的キャリア」「外的キャリア」の観点から考える>、大学生活の目標について。	シラバスを読み、授業の概要を確認しておく(キャリアについて意識して考えておく)	20分
第2回	図書館の活用について<主体的に活用する方法を学ぶ> キャリアデザイン① これまでの自分を振り返る、自己概念について考える。 <自分の人生をライフライン・チャートで振り返る>	事前学修:「自分はどんな人間か・何を大切にしているのか・どんな価値観を持っているのか」を事前に考えておく 事後学修:振り返りレポート提出	30分
第3回	キャリアデザイン② 【アクティブラーニング】 グループワーク 自分らしさを考える客観的視点から自己探索を促す。 <ジョハリの窓・職業興味チェックシート、価値観チェック>	事前学修:自分らしさについて事前に考えておく 事後学修:振り返りレポート提出	30分
第4回	キャリアデザイン③ 【アクティブラーニング】 未来の自分を考える、ライフイベント、人生の転機。 <ライフイベントと資金、キャリアストーリーインタビュー>	事前学修:未来の自分について考えておく 事後学修:振り返りレポート提出	30分
第5回	自立したキャリアを創る大学生活について <マインドマップ製作>・今、求められるキャリア教育について考える ※ゲストスピーカー予定。	事前学修:自身の大学生生活をイメージしておく 事後学修:振り返りレポート提出・マインドマップ提出	60分
第6回	人間関係とコミュニケーション 【アクティブラーニング】 グループディスカッション <チェックリスト>・多様性について学ぶ。	事前学修:自身の思い込みについて考えておく 事後学修:振り返りレポート提出	30分
第7回	情報リテラシー・知財リテラシー 【ネットワークの理解・Eメール活用・情報検索・知的財産の保護について学ぶ。】	事前学修:ネットワークの活用について調べておく 事後学修:振り返りレポート提出	60分
第8回	社会人基礎力 【アクティブラーニング】 スピーチ・グループワーク等、目的をもって話す。 <スピーチ、ディスカッション>×「社会人」と「働くこと」について考える、ビジネス文書を作成、ケーススタディ	事前学修:レポート作成自己紹介スピーチを考えておく 事後学修:振り返りレポート提出	30分
第9回	プレゼンテーションについて学ぶ① <コミュニケーションとプレゼンテーションに関する基礎的な知識と能力を身につける>	事前学修:プレゼンテーションとは何か調べておく 事後学修:プレゼンテーションを実践するための内容を考えておく・振り返りレポート提出	60分
第10回	プレゼンテーションについて学ぶ② <プレゼンテーションを実践する>	事前学修:プレゼンテーション実施内容を考えておく 事後学修:プレゼンテーション資料提出	60分
第11回	学長講話 <建学の精神・教育理念について> 北陸でクリエイティブな活躍をしている人の話を聴く ①<社会人キャリアトーク・セッション 社会人と話そう、卒業生ゲストスピーカー>	事前学修:金城学園の歴史について調べておく・ゲストスピーカーにインタビューする内容を考えておく 事後学修:振り返りレポート提出	30分
第12回	北陸でクリエイティブな活躍をしている人の話を聴く ②<社会人キャリアトーク・セッション 社会人と話そう、ゲストスピーカー>	事前学修:ゲストスピーカーにインタビューする内容を考えておく 事後学修:振り返りレポート提出	30分
第13回	キャリアプランをつくり実行する・キャリアの理論について学ぶ <キャリアプランの意義・経験代謝理論>	事前学修:キャリアの理論について調べておく 事後学修:振り返りレポート提出	30分
第14回	アートプロジェクトから学ぶ教養としての創造的思考について 【アクティブラーニング】 <アートの視点をいかした創造的思考のサイクルについて学ぶ>	事前学修:アートプロジェクトとはどんなものがあるか考えておく 事後学修:振り返りレポート提出	60分
第15回	キャリアについて全体のまとめ <自分らしい生き方、キャリア形成にむけてグループワーク、「在りたい自分」について考える>	事前学修:キャリアについて学んだ経験から感想をまとめておく 事後学修:「在りたい自分」についてレポート提出	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)もしくは事後の考察レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
提出課題(50%)・積極的な授業への参加状況(30%)・ワークショップやディスカッション内での課題発表(20%)を総合して評価する。

課題に対してのフィードバック

レポート提出後、評価し返却。

教科書・参考書

教科書:大学1年からのキャリアデザイン実践(八千代出版)、学生のためのプレゼンテーション・トレーニング(実教出版)(教科書の該当ページを開きながら解説します)